

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公表番号】特表 2005-513422 (P2005-513422A)

【公表日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2005-018

【出願番号】特願 2003-546738 (P2003-546738)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/50 Z

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であって、該方法は、

i) 以下：

a) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95% 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸に少なくとも 95% 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7 または配列番号 8 に記載のヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルと、試験サンプルとを、該化合物が該ポリペプチドに結合するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該ポリペプチドに結合するか否かを検出する工程

を包含し、それによって、細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 2】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であって、該方法は、

i) 以下：

a) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸に少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7 または配列番号 8 に記載のヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルと、試験化合物とを、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節する能力をアッセイする工程、を包含し、これによって、細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 3】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定するための方法であって、該方法は、

i) 化合物と、以下：

a) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列に少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子であって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、核酸分子；および

d) 配列番号 9 のアミノ酸配列をコードする核酸分子、

からなる群より選択されるポリヌクレオチドを発現するサンプルとを、接触させる工程；ならびに

i i) 該化合物が該核酸分子の発現を調節する能力をアッセイする工程、を包含し、これによって、細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 4】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定するための方法であって、該方法は、以下の工程：

i) 以下：

a) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸に少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7 または配列番号 8 に記載のヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルと、試験化合物とを、該化合物が該ポリペプチドに結合するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該ポリペプチドに結合するか否かを検出する工程、

を包含し、それによって、細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 5】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、該方法は、以下の工程：

i) 以下：

a) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸に少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7 または配列番号 8 に記載のヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルと、試験化合物を、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該ポリペプチドへの活性を調節する能力をアッセイする工程、を包含し、これによって、細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 6】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定するための方法であって、該方法は、以下の工程：

i) 化合物と以下：

a) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列に少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子であって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；および

d) 配列番号 9 のアミノ酸配列をコードする核酸分子、

からなる群より選択されるポリヌクレオチドを発現する細胞とを、接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が該核酸分子の発現を調節する能力をアッセイする工程、を包含し、これによって、細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 7】

前記サンプルがポリペプチドである、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記サンプルが細胞である、請求項 1、2、3、4、5 または 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記細胞が乳房組織、卵巣組織、肺組織、または脈管形成組織由来の細胞である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記細胞増殖障害が、乳癌、肺癌、卵巣癌または結腸癌である、請求項 1、2 または 3 に記載の方法。

【請求項 11】

前記化合物が、低分子、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 12】

前記化合物が、アンチセンス核酸分子である、請求項 3 または 6 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ポリペプチドが、異種アミノ酸配列をさらに含む、請求項 1、2、4、または 5 に記載の方法。

【請求項 14】

細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を有するかまたは細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を発症する危険性を有する被験体を同定するためのキットであって、該キットは、第 1 増幅プライマーおよび第 2 増幅プライマーを含み、該第 1 プライマーが、配列番号 7 または配列番号 8 の少なくとも 25 個連続するヌクレオチドを含み、そして該第 2 プライマーが、配列番号 7 または配列番号 8 の相補体からの少なくとも 25 個連続するヌクレオチドを含む、キット。

【請求項 15】

細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を有するかまたは細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を発症する危険性を有する被験体を同定するためのキットであって、該キットは、

a) 配列番号 9 のアミノ酸配列に少なくとも 95% 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 7 または配列番号 8 のヌクレオチド配列を含む核酸に少なくとも 95% 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドが、ホスホリパーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 9 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 7 または配列番号 8 に記載のヌクレオチド配列によってコードされるポリペプチド、

からなる群より選択されるポリペプチド；ならびに

該ポリペプチドに選択的に結合し得る抗体、を含む、キット。

【請求項 16】

前記細胞増殖障害が、乳癌、肺癌、卵巣癌または結腸癌である、請求項 14 または 15 に記載のキット。

【請求項 17】

請求項 1、2、3、4、5 または 6 において同定された化合物を含む、細胞増殖障害または脈管形成障害を有する被験体を処置するための、薬学的組成物。

【請求項 18】

前記細胞増殖障害が、乳癌、肺癌、卵巣癌または結腸癌である、請求項 17 に記載の薬学的組成物。